

第32回

有島武郎青少年公募絵画展

有島記念館 Arishima Takeo Memorial Museum

有島記念館の若手芸術家応援の取り組みについて

有島記念館では、美術、音楽など若手芸術家に発表の場を提供するために2012年より展覧会やコンサート事業などさまざまな取り組みを行っています。美術関連では、過去の「有島武郎青少年公募絵画展」入選・出品者をはじめとして、活発な活動を行う作家を企画展「有島記念館若手作家展」シリーズとして紹介してきています。

このほか、35歳以下の作家を対象とした「平成の『生れ出づる悩み』コンテスト」を隔年で開催しています。また、2016年度より当館で紹介した若手作家の作品の購入・收藏を行い、その活動を後世へ伝える取り組みも行っています。



過去の「有島記念館若手作家展」

- 第1回：「再会-reunion展」(2013年)
- 第2回：「山下隆博写真展」・「新見亜矢子展」(2015年)
- 第3回：「平成の『生れ出づる悩み』2014展」(2015年)
- 第4回：「駒澤千波展」(2015年)
- 第5回：「石垣渉展」(2016年)
- 第6回：「カトウタツヤ展」(2017年)
- 第7回：「河野健展」(2017年)
- 第8回：「平成の『生れ出づる悩み』2016展」(2017年)
- 第9回：「曾田千夏展」(2019年)

作品を購入・收藏した若手作家
山下隆博、新見亜矢子、駒澤千波、石垣渉、カトウタツヤ、河野健
(敬称略)



有島 武郎 Arishima Takeo

1878(明治11)年生まれ。『或る女』、『カインの末裔』などの代表作で知られる小説家。東北帝国大学農科大学教官時代には、美術同好会「黒百合会」の創立に関与するなど、北海道の美術史にも足跡を残す。

1918(大正7)年から発表された有島武郎の小説『生れ出づる悩み』は、のちの画家・木田金次郎が自らの境遇や絵画制作を続けるか否かに悩んでいた時、偶然に有島の住まいを見つけて、訪問した事実がモデルとなっている。木田は、この運命的な出会いをきっかけとして、有島の励ましを受けながら、郷土・岩内の自然と深く対峙して、画業を極めていく。この作品に描かれる、芸術と実生活との間で苦悩しながらも、絵を描こうとする芸術家の姿は、多くの読者の共感を得て、有島の代表作の一つと称されている。

1922(大正11)年、狩太(現・ニセコ町)に所有した自らの農場を無償解放し、翌年に軽井沢で没する。

『第32回有島武郎青少年公募絵画展』統計

| | |
|---------|------|
| 応募作品 | 258点 |
| 高校油彩 | 99点 |
| 高校水彩 | 23点 |
| 高校イラスト | 36点 |
| 中学油彩 | 40点 |
| 中学水彩 | 40点 |
| 中学イラスト | 20点 |
| 入賞・入選作品 | 101点 |
| 高校油彩 | 40点 |
| 高校水彩 | 13点 |
| 高校イラスト | 16点 |
| 中学油彩 | 13点 |
| 中学水彩 | 12点 |
| 中学イラスト | 7点 |

第32回
有島武郎青少年公募絵画展

図録『第32回有島武郎青少年公募絵画展』

発行日

2020年10月24日初版発行

編集・発行

ニセコ町・有島記念館

〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有57

印刷・製本

株式会社サンコー

この展覧会図録の編集・デザインは、伊藤大介(有島記念館主任学芸員)が担当しました。

会期

2020年10月24日(土)～11月8日(日)

会場

有島記念館 特別展示室

主催

ニセコ町 北海道新聞社

主管

ニセコ町教育委員会

後援

北海道 北海道教育委員会

ごあいさつ

このたび有島記念館では、「第32回有島武郎青少年公募絵画展」を開催します。

当館が顕彰する有島武郎は、大正期を代表する白樺派の作家であるとともに、明治期の北海道における美術史にも足跡を残しました。武郎は、1908(明治41)年、東北帝国大学農科大学美術同好会「黒百合会」の創設に関与します。同会個展では、武郎は自作を出品するほか、美術雑誌としての側面を持っていた雑誌『白樺』の同人でもあったことから、後期印象派やロダンの彫刻作品などを展示紹介しました。この個展で武郎の作品に深い感銘を受けたのは、若き日の木田金次郎です。その後、武郎は木田を励まし続け、木田は郷土に根ざした画家として歩みを始めるのです。

有島記念館では、有島武郎が持っていたこの美術振興の精神を継承するため、1989(平成元)年より本公募絵画展を開催しております。

今回は北海道内各地から、258点に及ぶ応募作品が寄せられ、10月15日、16日の両日に行われた審査会《審査委員長:佐藤友哉氏(札幌芸術の森美術館館長・美術評論家)、審査員:佐藤光雄氏(画家・全道展会員)、西村明美氏(画家・道展会員)、羽山雅倫氏(画家・全道展会員)》によって、入賞・入選作品101点が決定しました。

今後、入賞・入選されたみなさんが切磋琢磨し、北海道はもとより、日本、そして世界をまたにかけて活動するアーティストへと、また美術活動に理解のある大人として成長していただくことが、主催者としての望みです。

最後になりましたが、この公募展の開催にあたり、出品者をはじめ、中学校及び高等学校美術教諭のみなさまなど、多くの方々にご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

ニセコ町
北海道新聞社

(5) 高校イラスト

| | | |
|------------------|-----------|---------------------|
| 黄金PONPOKO8世とその従者 | 木村 ゆうひ | 札幌大谷高等学校3年 |
| re・Load a Life | 長 井 崇 晃 | 札幌大谷高等学校2年 |
| 旧人類 | 滝 沢 実 々 | 札幌大谷高等学校2年 |
| 怒髪天を衝く | 星 陽 斗 | 札幌大谷高等学校2年 |
| makina | 英 颯 人 | 札幌大谷高等学校2年 |
| May way of life | 伊 藤 晋 之 介 | 北海道おといねっぷ美術工芸高等学校3年 |
| ソウ | 小 笠 原 千 香 | 北海高等学校2年 |
| 成長 | 千 葉 な ず な | 北海高等学校2年 |
| 復讐を果たした日 | 紺 野 菜 月 | 北海道釧路湖陵高等学校1年 |
| 好きなもの | 小 山 桃 佳 | 北海道旭川南高等学校2年 |
| R.I.P | 神 田 真 莉 | 北海道旭川工業高等学校2年 |
| 鳥躍 | 加 賀 谷 仁 心 | 市立札幌平岸高等学校1年 |

(6) 中学イラスト

| | | |
|---------|---------|--------------|
| くじら | 木 立 謡 | 恵庭市立恵明中学校1年 |
| 異世界の現代猫 | 横 溝 柚 穂 | 札幌市立陵北中学校2年 |
| 納屋のなか | 明 石 風 音 | 千歳市立東千歳中学校3年 |
| 星空の牛舎 | 橋 場 美 咲 | 千歳市立東千歳中学校3年 |

(2) 中学油彩

決戦!!!
通せん坊
マボロシの蛇
作家
明かりがつく
馬犬猫鯉
幻想
沖縄の海とシーサー
橙
幼なじみと秋の空
雨を降らす船・地球を洗う

越田 翼 札幌大谷中学校3年
石橋 旺 篤 札幌大谷中学校2年
豊原 愛 深 札幌大谷中学校1年
千葉 ひなつ 札幌大谷中学校1年
山田 玲 札幌大谷中学校1年
谷屋 恵 莉 札幌市立宮の丘中学校3年
廣瀬 叶 恵 札幌市立宮の丘中学校3年
石川 心 和 石狩市立浜益中学校1年
安齋 緋 織 三笠市立三笠中学校2年
真鍋 紗 姫 札幌市立上篠路中学校2年
高山 響 恵庭市立恵庭中学校2年

(3) 高校水彩

0%
ハナトオンナ
ずっと変わらない
果実の煌めき
重たい二秒間
脇役
青を纏って
だから私もがんばれる。
砂浜と瓶
溶け合う色彩

岡田 れもん 札幌大谷高等学校3年
長屋 美 緒 札幌大谷高等学校2年
小鍛治 紗 寧 札幌大谷高等学校2年
渥美 奈 央 札幌大谷高等学校2年
小黒 雪 子 札幌大谷高等学校1年
岡本 祐 奈 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校3年
伊勢谷 那 月 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校1年
水野 花 菜 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校1年
小島 さくら 藤女子高等学校1年
菊谷 菜 織 北海高等学校1年

(4) 中学水彩

思い出の詰まった場所
青と天上
閑静
思い出ある石段
笑顔を支えた坂道
学校の樹
カラマツ林の馬
稲刈り後の田んぼ
雲
稲荷

青塚 千 夏 岩内町立岩内第一中学校3年
高山 さくら 岩内町立岩内第一中学校3年
中越 心 優 岩内町立岩内第一中学校2年
川崎 祐 那 岩内町立岩内第一中学校2年
佐々木 明日香 岩内町立岩内第一中学校1年
長島 ひなた 千歳市立東千歳中学校3年
浅野 七 海 千歳市立東千歳中学校2年
佐々木 聖 愛 千歳市立東千歳中学校1年
内田 大 地 黒松内町立白井川中学校3年
野村 英 春 増毛町立増毛中学校2年

目次

ごあいさつ

総評「第32回有島武郎青少年公募絵画展を審査して」 06
羽山雅倫 (画家・全道展会員)

入賞作品図版 08
入賞・入選作品一覧 18

審査委員

審査委員長

佐藤友哉 氏 (札幌芸術の森美術館館長・美術評論家)

審査員

佐藤光雄 氏 (画家・全道展会員)

西村明美 氏 (画家・道展会員)

羽山雅倫 氏 (画家・全道展会員)

以上の4氏により、2020年10月15日・16日の両日、
有島記念館にて厳正な審査が行われました。

謝辞

本公募絵画展の開催にあたり、多くの方々にご協力を賜りました。

厚く御礼申し上げます。

佐藤友哉

佐藤光雄

西村明美

羽山雅倫

北海道

北海道教育委員会

(順不同・敬称略)

講評「第32回有島武郎青少年公募絵画展を審査して」

羽山 雅愉（はやま・まさよし＝全道展会員、寸評も）

今回はコロナ禍で出品点数の減少が心配であったが杞憂であった。出品総数は258点で昨年より50点ほど増加し、審査委員長の佐藤友哉さん（札幌芸術の森美術館館長）を中心に、佐藤光雄さん（全道展会員）、西村明美さん（道展会員）の両氏と私が加わり、15、16日2日間に及ぶ慎重な審議となった。受賞作も含め入選は101点と例年通りの厳選となり、ひたむきに制作された作品が多いだに審査員の心が痛むことが何度もあった。

応募作品の全体的な印象は、日常生活や風景、動物など身近なものを題材にしたものや、若者が持つ夢と現実、不安や憧れなどのイメージが明確となり、制作技術の向上がよりの確な表現となっている。そうした年々新たな展開に希望が持て、審査員全員が高く評価した。

近年、生活環境が目まぐるしく変化する中でこそ、こうした青少年の熱気と発想の自由さと直接向かい合い絵画の持つ意義を再確認したい。

帰路、ニセコ mountain を眺め有島武郎の夢でもあったこの広大な自然のように、若者たちがどこまでも大いなる希望を目指して歩いていけたらと切望した。

入選

(1) 高校油彩

| | | |
|-------------------|-------|---------------------|
| On the way | 榎谷亮太 | 札幌大谷高等学校3年 |
| humour | 服部真佳 | 札幌大谷高等学校2年 |
| 生生流転 | 鈴木仁衣奈 | 札幌大谷高等学校2年 |
| うつろひゆく夢幻の瞬きの中で | 高橋亜野子 | 札幌大谷高等学校2年 |
| it's me | 石坂夏海 | 札幌大谷高等学校2年 |
| 逆光 | 榮村莉玖 | 札幌大谷高等学校2年 |
| 窓際の君 | 岩本紗奈 | 札幌大谷高等学校1年 |
| 昔の夢 | 金澤飛成乃 | 札幌大谷高等学校1年 |
| ゆるやかな祈り | 成田りな | 札幌大谷高等学校1年 |
| 描くこととは | 樋渡華菜 | 札幌大谷高等学校1年 |
| 生活 | 原田琴葉 | 札幌大谷高等学校1年 |
| たいむとらべる | 日高栄奈 | 札幌大谷高等学校1年 |
| それでも。 | 坂井楓奈 | 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校3年 |
| Which is real me? | 今野菜々美 | 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年 |
| 青いシッポ | 覚間夕貴 | 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年 |
| Break | 五十嵐公弥 | 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年 |
| 未来に願いを | 鎌田美優 | 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校1年 |
| 生卵 | 熊谷優香 | 北海道北見柏陽高等学校3年 |
| sunlight | 井上こころ | 北海道北見柏陽高等学校1年 |
| ぐうぜん | 佐藤永 | 北海道北見柏陽高等学校1年 |
| 整理整頓 | 成田ゆい | 北海道札幌啓成高等学校3年 |
| 月光に咲く華 | 田中恋花 | 北海道札幌平岡高等学校1年 |
| 激情 | 本多来春 | 北海道札幌平岡高等学校1年 |
| 追懐 | 宮野汐未 | 北海道札幌厚別高等学校2年 |
| 清らか | 安川綾乃 | 北海道札幌厚別高等学校2年 |
| 静かな時間 | 山下麻衣香 | 駒澤大学附属苫小牧高等学校3年 |
| かくしたもの。 | 齊藤瑠夏 | 駒澤大学附属苫小牧高等学校2年 |
| 混迷に光 | 永井和香菜 | 北星学園女子高等学校1年 |
| 夏潮 | 山田瑞姫 | 北海道旭川西高等学校1年 |
| 美醜、羨望 | 早坂夏花 | 北海道室蘭東翔高等学校3年 |
| なにかついでる | 片山碧空 | 北海道札幌白陵高等学校1年 |
| 視えざる | 渡邊柚月 | 市立札幌平岸高等学校3年 |
| 導火線 | 滝野智菜 | 北海道有朋高等学校3年 |

入賞・入選作品一覧

左より作品名、出品者名、出品者学校名、学年の順
敬称略

有島 武郎賞

変わらないもの 高津 芽生 札幌大谷高等学校2年 高校油彩

北海道知事賞

水面 宮田 琴羽 北海道おといねっふ美術工芸高等学校2年 高校油彩

北海道教育長賞

オアシス 阿部 優奈 市立札幌平岸高等学校3年 高校水彩

ニセコ町長賞

flash 藤井 咲羽 北海道おといねっふ美術工芸高等学校1年 高校油彩

ニセコ町教育長賞

私の世界 黒沢 茅乃 札幌大谷高等学校2年 高校イラスト

北海道新聞社賞

落描き 竹内 優希 札幌大谷中学校3年 中学油彩

奨励賞

記憶 豊岡 花月 札幌大谷高等学校2年 高校油彩

ひんやり 松田 愛 札幌大谷高等学校1年 高校油彩

私は君が羨ましいし、恨めしい。 金谷 望央 札幌大谷高等学校1年 高校油彩

恋景色 鈴木 凜 北海道旭川西高等学校1年 高校油彩

私だけの世界 鈴木 凜音 札幌大谷中学校3年 中学油彩

Strong and beautiful 川井 彩奈 札幌大谷高等学校2年 高校水彩

大きく 加藤 瑛夢 北海道おといねっふ美術工芸高等学校2年 高校水彩

カラマツ林の陰影 今 佑月 千歳市立東千歳中学校3年 中学水彩

馬の親子 廣瀬 蒼依 千歳市立東千歳中学校1年 中学水彩

create life 野上 栞那 札幌大谷高等学校3年 高校イラスト

かみしゃま 堀内 拓真 北海道おといねっふ美術工芸高等学校3年 高校イラスト

似通う 森 夏美 駒澤大学附属苫小牧高等学校2年 高校イラスト

夢の世界～うさぎピーチへようこそ！ 佐井 梨子 星槎もみじ中学校2年 中学イラスト

月灯りの静寂 梶 美優 岩内町立岩内第二中学校2年 中学イラスト

暁光 チョン長谷川フィオナ 小樽市立松ヶ枝中学校3年 中学イラスト

寸評

有島武郎賞

《変わらないもの》高津芽生（札幌大谷高等学校2年）油彩

少女たちのポーズと顔の表情が秀逸。周りの木々が時の流れというテーマと一致し完成度が高い。

北海道知事賞

《水面》宮田琴羽（北海道おといねっふ美術工芸高等学校2年）油彩

ゆれる水の表現と感性に新鮮な魅力がある。色数の制限とモチーフの大きさが的確で空間が生きた。

北海道教育長賞

《オアシス》阿部優奈（市立札幌平岸高等学校3年）水彩

個性的な強い色彩と異国の題材が強く目を引く。何よりも自由な発想とその作画姿勢が心地よい。

ニセコ町長賞

《flash》藤井咲羽（おといねっふ美術工芸高等学校1年）油彩

今の若者像を真つすぐにとらえた視線に好感。幻想的な表現と人物の描写が的確でリアリティーがある。

ニセコ町教育長賞

《私の世界》黒沢茅乃（札幌大谷高等学校2年）イラストレーション

ペンの繊細な技法が細部にまで至り密度が高い。多くの造形物に発想の柔軟さがあり時を忘れる。

北海道新聞社賞

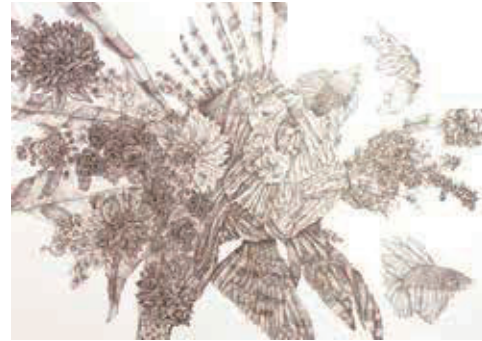
《落描き》竹内優希（札幌大谷中学校3年）油彩

多くのモチーフが飛び出し時間的な要素が視覚化され、作者の異次元世界が楽しくもユニークである。

2020年10月23日金曜日 北海道新聞夕刊掲載



《変わらないもの》高校油彩
高津 芽生 札幌大谷高等学校2年



《似通う》高校イラスト
森 夏美
駒澤大学附属苫小牧高等学校2年



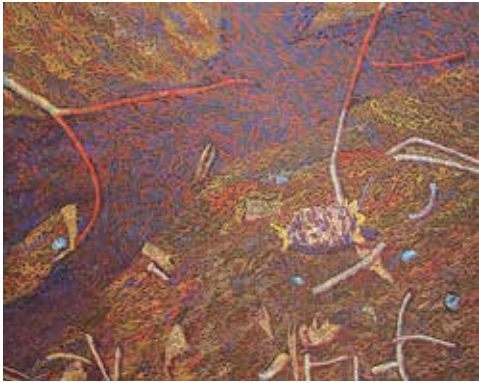
《夢の世界〜うさぎピーチへようこそ!》中学イラスト
佑井 梨子
星槎もみじ中学校2年



《月灯りの静寂》中学イラスト
梶 美優
岩内町立岩内第二中学校2年



《暁光》中学イラスト
チョン長谷川 フィオナ
小樽市立松ヶ枝中学校3年



《カラマツ林の陰影》 中学水彩
今 佑月
千歳市立東千歳中学校3年



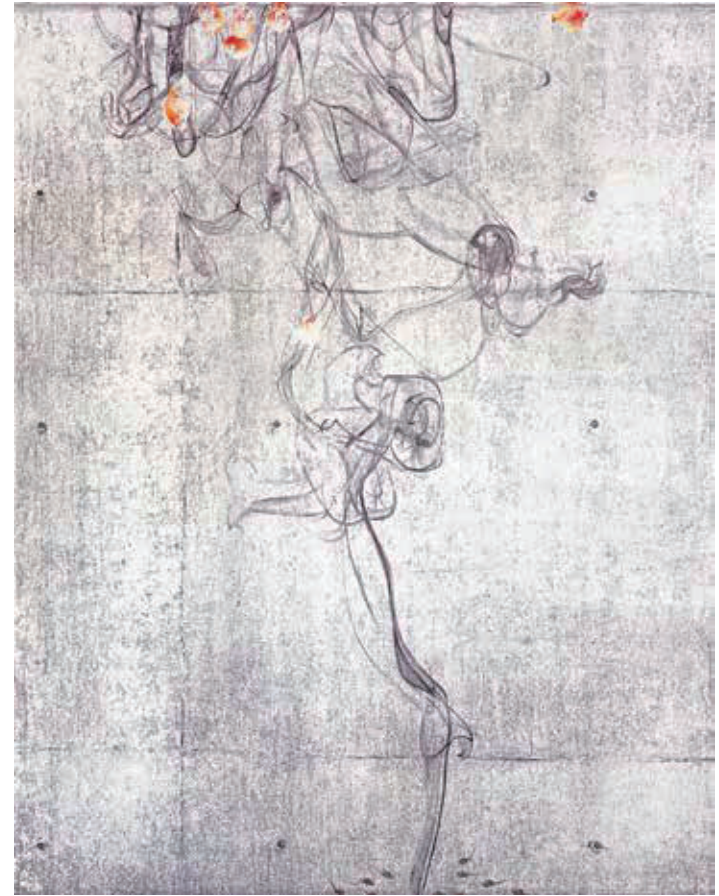
《馬の親子》 中学水彩
廣瀬 蒼依
千歳市立東千歳中学校1年



《create life》 高校イラスト
野上 葉那
札幌大谷高等学校3年



《かみしゃま》 高校イラスト
堀内 拓真
北海道おといねっぶ美術工芸高等学校3年



《水面》 高校油彩
宮田 琴羽 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年



《オアシス》 高校水彩
阿部 優奈 市立札幌平岸高等学校3年



《恋景色》 高校油彩
鈴木 凜
北海道旭川西高等学校1年



《私だけの世界》 中学油彩
鈴木 凜音
札幌大谷中学校3年



《Strong and beautiful》 高校水彩
川井 彩奈
札幌大谷高等学校2年



《大きく》 高校水彩
加藤 瑛夢
北海道おといねっぷ美術工芸高等学校2年



《記憶》高校油彩
豊岡 花月
札幌大谷高等学校2年



《ひんやり》高校油彩
松田 愛
札幌大谷高等学校1年



《私は君が羨ましいし、恨めしい。》高校油彩
金谷 望央
札幌大谷高等学校1年



《flash》高校油彩
藤井 咲羽 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校1年



《私の世界》 高校イラスト
黒沢 茅乃 札幌大谷高等学校2年



《落描き》 中学油彩
竹内 優希 札幌大谷中学校3年